令和８年２月瀬戸内市教育委員会議　会議録

Ⅰ．開　催　日　　令和８年２月１８日（水）

Ⅱ．開会及び閉会　　開　会　　９時５６分
閉　会　　１１時２０分

Ⅲ．出 席 委 員

教　育　長	萩　原　康　正
委　　員	山　本　　正
委　　員	平 松　美 由 紀
委　　員	金　光　一　雄

Ⅳ．出 席 職 員

教　育　次　長	山 本　　正 樹
総 務 学 務 課 長	河　原　克　仁
総務学務課参事	屋　敷　和　宣
社 会 教 育 課 長	櫻　田　智　子
中央・牛窓町公民館館長 図書館館長	冨　岡　　潤
長船町公民館館長	松 田 秀 太 郎
学校給食調理場所長	森　山　光　晴
総務学務課総務係長	藤　井　大　樹
総務学務課主事	富　浦　沙　樹

Ⅴ．議事の内容

１．開　　会

２．教育長報告について

萩原教育長　　2/17 に、保幼こ小の連携研修会が開かれた。各校園から３０人が参加した(そのうち小学校からは 9 人参加)。岡山県幼児教育センターの方が講師を務めた。「学びや育ちをつなぐ園小接続」という演題だった。参加した方の中で「かけはし教育」を知っている人は半分。手引きを見たことがある

人は若干名だった。講師の方は、単に保幼こ小が連携するのではなく、「つなぐ」ということをしっかり考えて欲しいと言われていた。具体的には、幼児教育で育ててきた資質・能力を、小学校で新たに同じように育てるのではなく、それをしっかり理解して、小学校でもっと伸ばしていくことが大切であるということだ。そのためには、地域の幼児教育の関係者と小学校教育の関係者が連携して、5～6 歳時のカリキュラムと小学校１年生のカリキュラムを一体的にとらえ、教育方法の改善をしていくことが必要になる。今後は、このような「かけはし教育」を拡充していかないといけないと考えている。

議会の行政報告では、市長から、来年度給食費は無料にする、市の奨学金については、物価高騰により所得制限は設けないという話が出た。

【受賞関連】

○岡山県警　自転車鍵かけコンテスト

１部（１４９台以下）	最優秀	牛窓中学校
２部（１５０台以上）	最優秀	長船中学校

【市議会関連】

○　２月定例会	２／１７(火)～３／１９(木)
・一般質問（代表、個人）	２／２４（火）～２６（木）
・議案質疑（質疑、討論、採決）	２／２７（金）

【会議・行事関係】

○　総務学務課関係

（市教委関連）

・市校長会	２／　３（火）
・市園長会	２／　５（木）

（学校園関連）

・新１年一日入学体験、新入生説明会

全小学校	１月下旬～２月中旬
全中学校	１月下旬～２月上旬

・学年末考査

牛窓中・邑久中（１・２年）	２／２７（金）・３／　２（月）
長船中（１・２年）	３／　２（月）・３／　３（火）
長船中（３年）	２／１７（火）・２／１８（水）
邑久中（３年）	２／１８（水）

○　こどもみらいサポートセンター

・あいさつ運動　２／１０（火）

○　社会教育課関係

・県アドバイザー派遣事業（裳掛小）　２／１３（金）

・家庭教育学級　牛窓東幼、邑久幼、行幸幼　２／１３（金）

・青少年相談員連絡会第３回会議　２／１７（火）

・青少年育成県民会議瀬戸内地区連絡協議会第３回会議

２／２５（水）

・瀬戸内市 DAGASHI リレーマラソン大会 2026　２／１５（日）

○　学校給食調理場

・学校給食調理場運営委員会　２／　４（水）

・ヘルシータウン推進協議会（生産者部会）　２／　５（木）

○　公民館

（中央公民館）

・邑悠学級：第１３回学習発表会　２／　５（木）

・地元まるごといただきます　２／　７（土）

時短で、おいしい旬の野菜料理教室

・文学を楽しむ：夏目漱石と「夢十夜」　２／　８（日）・１５（日）

・はじめてのワード(入門編)講座?～?　２／１４、１５、２１、２２

・パソコン何でも相談会　２／２４（火）

・せとうちおもちゃの病院　２／２８（土）

＜文化があふれるまちづくり事業＞

・令和８年度文化の種まき応援事業応募締切　２／２０（金）

（牛窓町公民館）

・地元まるごといただきます　２／　１（日）

白菜&大根キムチづくり

・いきいき学級：ヨボヨボ予防！フレイル予防！　２／１３（金）

（長船町公民館）

・和気・瀬戸内中学生美術展　２／　６（金）　２２（日）

・地域再発見ウォーキング　２／　７（土）
魅力いっぱいの服部・長船地区を巡る
・ふれあい学級：健康運動指導士による健康体操　２／１２（木）
＜菊づくり講座＞
大菊の部「土づくりの準備、親株の摘心・管理」　２／　７（土）
盆栽の部「冬至芽（うど芽）の鉢上げ」　２／２１（土）

○　図書館
・邑久高校ＰＯＰ・セトリ―展示　１／２９～２／２２
・牛窓地域学習新聞展示　１／３０～２／２４
・裳掛移動図書館　２／　５（木）
・もみわセミナー　２／　７（土）
埋蔵文化財って何じゃろな?瀬戸内市の調査状況?
講師：江口 直輝（文化観光課　学芸員）
・アマチュア人形劇団定期公演　２／　８（日）
つきみ草「オズの魔法使い」
・もみわシネマ：「ハドソン川の奇跡」　２／１５（日）
・もみわセミナー　２／２２（日）
こころの SOS に気づく力ー自分と地域を守るためにー
講師：草苅祐子（社会福祉法人岡山いのちの電話協会事務局長）
＜おはなし会＞
市民：乳幼児対象　２／　４（水）・１８（水）
幼児～小学校低学年対象　２／１４（土）・２８（土）
牛窓：幼児～小学校低学年対象　２／　７（土）
長船：なし
＜おすすめ展示＞
市民：一般「豊臣兄弟！」を楽しむ　１／２９（木）～
?天下人の補佐役秀長と戦国?
：児童「あまくておいし?い」　１／２９（木）～
：中高生「おくりもの」　１／２９（木）～
牛窓：「冬の不調」　１／２９（木）～
長船：「あまい本」　１／２９（木）～
＜図書館友の会もみわフレンズ＞
・講演会：「実は、面白い！？永瀬清子」　２／　１（日）
講師：横田都志子（NPO 法人永瀬清子生家保存会理事長）
＜放送大学岡山学習センター公開講座＞
・放送大学公開講座第２回　２／２８（土）

「沈黙の臓器」腎臓、あなたは大丈夫？

講師：齋藤 昇(放送大学岡山学習センター客員教授・岡山大学名誉教授)

＜瀬戸内市地域自立支援協議会＞

・シフォンケーキ販売　　２／２８（土）

（その他）

・こどもひろば市民セミナー　　２／　１（日）
・箏曲三上社明寿会お弾き初め会　　２／　１（日）
・裳掛地区を明るくする会表彰式　　２／２０（金）

金光委員　奨学金制度についてだが、市長の考えは、大学進学等でいったん市外に出た人が、瀬戸内市に帰って来やすくなることに資するような制度にしたい、という理解でよいか。

萩原教育長　そう理解していただいてよい。しかし、市の奨学金は大学生になる時に借り始めるものだが、奨学金を借りる人のほとんどは、高校３年生の途中で、日本学生支援機構のものを借りているため、市の奨学金を借りる人の数は限られている。

そのため、教育委員会としては、大学進学等が経済的困難な方を支援するという方針を残しておきたい。

金光委員　日本学生支援機構の奨学金と市の奨学金の違いは何か。

萩原教育長　申し込みの時期が違う。学生支援機構の方が早い。あと、学生支援機構の方は、給付型、有利子型、無利子型といろいろ選択できるので、多くの方はそちらを利用する。市の奨学金に申し込む人は、毎年２０人弱くらいにとどまっている。奨学金の額自体は、ほとんど変わらない。

平松委員　保幼こ小連携研修会には、小学校のどんな役割の先生が参加していたのか。

萩原教育長　１年生担任と養護教諭などが参加していた。

平松委員　１年生担任は、保育と小学校教育のつながりに関心が高いが、高学年担任などは関心が薄い場合がある。１年生担任だけではなく、小学校全職員が保育との連携を意識して欲しいと考える。

萩原教育長　研修会の中で、総合的な学習の時間を活用して、幼稚園の先生と小学校の先生が一緒に指導案を作り、小学校の先生が幼稚園で指導したり、幼稚園の先生が小学校１年生の学級で指導したりしている事例が紹介されていた。

金光委員　幼稚園等の「遊び」と小学校の「教育」は違うので、幼稚園の先生が小学校で授業するのは難しいのではないか。

平松委員　確かに難しいが、保育で育てられた資質・能力と小学校から培う資質・能力がうまくつながっていくように、しかけていく必要があると考える。

萩原教育長　４～５歳が、一番非認知能力が身につく。この能力を保育でしっかり高め、そ

れを小学校１年生につなげていくようなことを意図的に行っていきたい。

平松委員　　幼稚園、保育園、こども園の管轄が違い、保育内容等にズレがある。それを共通化して、どこを卒園した子も同じような資質・能力を身につけたうえで小学校に入学するようにしたい。

３．前回会議録の承認

署名委員　　山本　正委員　　平松　美由紀委員

４．議　　事

萩原教育長　議事進行

第７号議案　　会計年度任用職員の退職について

河原課長　　（資料を基に説明）

全 委 員　　＜異議なし＞

第８号議案　　令和８年度当初予算案について

河原課長　　（資料を基に説明）

金光委員　　図書館費が減っているのはどうしてか。

冨岡館長　　移動図書館（まーる号）の購入に充てる予定だった予算を、来年度は計上しないことになったのが大きな要因だ。

金光委員　　市内の学校は、どこも下水道がつながっていないのか。

河原課長　　市内に下水道が配備されていない地区がある。下水道が配備された所から随時学校にもつなげていっている。

萩原教育長　給食調理場はどうなっているか。

森山所長　　邑久はつながっているが、長船はまだつながっていない。

山本委員　　部活動の地域展開ついてだが、低所得世帯に対しての支援とあるが、どのように支援するのか。

櫻田課長　　この支援は、認定クラブに所属する生徒に対してのものだ。どのくらいの数の生徒が対象なのか、総務学務課に調べてもらっている。来年度については、数十人規模の生徒が対象であろうと推定している。国の補助金の予算が確定していないので、現在は仮申請している状態で、来年度になってから正式申請することになる。

全 委 員　　＜異議なし＞

第９号議案　　令和７年度瀬戸内市教育委員会表彰被表彰者の選考について

櫻田課長　　（資料を基に説明）

萩原教育長　選考基準が曖昧な部分があるので、現在その修正を指示している。

全 委 員　　＜異議なし＞

第 10 号議案　　瀬戸内市スポーツ公園条例の一部を改正する施行期日を定める規則の制定について

櫻田課長　　（資料を基に説明）

全 委 員　　＜異議なし＞

第 11 号議案　　瀬戸内市部活動地域移行推進協議会設置要綱の一部改正について

本議案の資料が間に合わなかったため、３月の教育委員会議に持ち越すこととなった。

第 12 号議案　　中学校部活動の地域移行に係る地域クラブの認定について

櫻田課長　　（資料を基に説明）

金光委員　　瀬戸内市地域クラブ認定制度の「認定要件」に、(3)営利を目的とした運営でないこととあるが、他市では、企業が部活動を請け負っているケースがある。企業なら当然営利目的となる。市長は、副業を認める方針だが、市の職員が部活動指導員に応募して報酬を受けとるようなケースも想定される。それは営利目的とはならないか。部活動指導を請け負う個人や団体が、営利目的であってもよいのではないか。

萩原教育長　　市の職員や教員が地域クラブの指導をする場合は、有償ボランティアの意味合いが強い。企業が営利目的として参入するケースとは違うと考えている。

櫻田課長　　今後は、企業が地域貢献として地域クラブを請け負う場合も想定される。

金光委員　　「地域クラブ活動運営条件」(3)に広域からの生徒招集や選抜等を実施しないこととあるが、これからの地域クラブの所属生徒や指導者を、瀬戸内市在住限定と考えない方がいい。今後は、いろんな市町村との連携が大切になってくる。

全 委 員　　＜異議なし＞

萩原教育長　　非公開審議を開始することを宣する。

第 13 号議案　　準要保護児童生徒の認定について

＜非公開＞

萩原教育長　　非公開審議を終了することを宣する。

５．その他

〇次回開催日について

令和８年３月１７日（火）　１３：３０から

６．閉　　会　（１１時２０分閉会）